

平成30年度

島根大学大学院人文社会科学研究所修士課程

法経専攻地域経済コース

(第1次) 入試問題

【 情報経済論 】

(私費外国人留学生入試)

注 意

- 1 問題紙 1 ページ, 解答用紙 2 枚, 下書き用紙 2 枚である。
- 2 指示があつてから確認し, 解答用紙の所定の欄に受験番号を記入すること。
- 3 解答は, 解答用紙に清書すること。
- 4 問題紙, 下書き用紙は, 持ち帰ること。

以下、2つの問題に答えなさい。

問題 1

IT 産業＝情報通信産業においては、情報処理能力の増大とこれと反比例したコストの減少によって収穫が逓増（限界費用が減少）すると言われている。これは規模の経済性によって生産量を拡大することによる独占的経済モデルを成立させる。一方、特定の企業の拡大した生産量を受け容れるためには、需要の拡大とその囲い込みを実現させるネットワーク効果が必要となる。このネットワーク効果について具体的に説明せよ。

問題 2

IoT (Internet of Things : モノのインターネット) によって膨大な情報＝ビッグデータを集積・解析し、これらのサービスに提供するために情報通信産業だけでなく、あらゆる産業にとって AI (Artificial Intelligence : 人工知能) の活用が欠かせなくなっている。各産業の AI 化と AI の産業化について事例も交えて説明し、さらに AI が産業構造全体に与える影響・ビジネスモデルの変化について説明せよ。